

茨城県戦没者慰霊祭

(終戦記念祭) に参列して

茨城偕行会事務局長

佐々木 克徳 陸自71

茨城偕行会は、令和2年8月15日に茨城県護国神社で実施された茨城県戦没者慰霊祭(終戦記念祭)に、大高哲男会長(陸自66期)以下、15名の有志会員(賛助会員含む)が参列した。

本年は、新型コロナウイルス感染症対応のため、多くの行事が中止となる状況であったが、会場の感染症対策と行事の簡素化(直会中止)を行ったうえで開催するとの連絡があった。

「戦没者を追悼し、平和を祈念する日」として行われる本行事は、慰霊顕彰の実とともに会目的を認識する好機であり、参加に当たっては、個人ごと健康状態に注意し、無理のない範囲で行うことを示したうえで、会員に参加を案内した。

本年は総会が、文書決議による方式となったため集まる機会がなく、参加者にとって久し振りの会員再会の場であった。準備された茨城偕行会専用の待機場所は、感染症予防を考慮し、参集殿内に広い一室が用意されていた。

多くの一般参拝者が訪れる中、案内された拝殿は、英霊にこたえる会茨城県本部、護国神社総代会等の関係者を

含め約40名の参列であったが、間隔を考慮した配席で満席の状況であった。

11時30分に開始された慰霊祭の次第は、「修祓」、「宮司一拝」、「祝詞奏上」と続き、11時55分、全国戦没者追悼式に連動した行事に移行、拝殿内に流されたラジオ放送で安倍内閣総理大臣の式辞を拝聴、正午の時報に合わせて全員で黙祷を行った後に、天皇陛下のお言葉を拝聴した。その後、「浦安の舞」が奉げられた。「玉串拝礼」は、それぞれの代表者に合わせて実施、「号鼓」、「宮司一拝」をもって滞りなく終了した。



慰霊祭終了後に、飯塚重宮司の挨拶があり、終戦記念祭参列への御礼とともに、本行事を通じ命を繋ぐ大切さを認識して欲しいとの言葉が述べられた。参列者は、拝殿前で戦没英霊に献杯を行った後、参集殿に移動し、厳かな中に清々しい気持ちで相互に挨拶を交わした後、会場を後にした。

前出以外の本行事への参列者は以下

のとおりです。(敬称略)

福井正躬(陸自60)、小森重信(陸自66)、
大田保重(陸自71)、河野廣行(陸自74)、
坪沼浩(陸自01)、木村正己(陸自08)、
大川豊(陸事務官)、齋藤勝彦(同)、
永井勇(賛助)・永井令夫人、字梶浩
太(同)、老沼清一郎(同)、木村勝(同)
以上